

水産庁

プレスリリース

平成21年5月26日
水産庁

2009年度第二期北西太平洋鯨類捕獲調査(JARPNII)沿岸域調査(三陸沖鯨類捕獲調査)の終了について

本年度の第二期北西太平洋鯨類捕獲調査(JARPNII)沿岸域調査(三陸沖鯨類捕獲調査)が、5月21日(木曜日)に終了しましたので、その成果概要について報告します。

1. 調査概要

- (1)調査期間 4月22日(水曜日)～5月21日(木曜日)
- (2)調査実施主体 (財)日本鯨類研究所
- (3)調査海域 宮城県石巻市鮎川港を中心とした半径50マイル以内の海域
(主として30マイル以内)
- (4)調査船 標本採集船4隻、餌環境調査船1隻
- (5)調査団編成 調査総括 加藤秀弘(東京海洋大学)
調査団長 安永玄太(日本鯨類研究所) 他21名
- (6)捕獲頭数 ミンククジラ 60頭
- (7)主な発見鯨種 ミンククジラ、ザトウクジラ、シャチ等

2. 結果概要

- (1)ミンククジラの発見数は111群、112頭であった。
- (2)捕獲頭数の組成は、雄27頭、平均体長5.14m(4.03-6.85)、雌33頭、平均体長5.12m(3.78-7.72)であった。
- (3)胃内容物については、捕獲された個体のうち55個体から餌生物が観察された。うち45個体がイカナゴ(メロード)を捕食しており、全体の82%を占めた。
- (4)胃内容物重量は平均17.94kg(0.86-55.72)であった。

— お問い合わせ先 —

資源管理部遠洋課
担当者: 捕鯨班 高屋、増山
代表: 03-3502-8111(内線6724)
ダイヤルイン: 03-3502-2443

[ページトップへ](#)

Copyright:2007 Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1 電話:03-3502-8111(代表)

水産庁